

《内閣府 男女共同参画局から》

- 2019年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズを決定しました！
- 「第63回国連女性の地位委員会（CSW）等について聞く会」（4月25日開催）
- 女子中高生向けシンポジウム「進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来2019」を開催します。
（6月8日開催）

《お知らせ》

- 第5回WAW!/W20を開催しました！【外務省】
- 「男女共同参画推進フォーラム」ワークショップ・パネル展示募集【文部科学省】
- 国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019～情の時代～」（8月1日（木）～10月14日（月・祝）開催）
【お知らせ】

《内閣府 男女共同参画局から》

- 2019年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズを決定しました！

“男女共同参「学」” ・ “知る 学ぶ 考える 私の人生 私がつくる”

内閣府では、「「学び」を通じて、男性も女性も、ひとりひとりが、多様なライフキャリアの形成と選

掲げることができる社会の実現に向けたキャッチフレーズ」を募集し、応募総数1,900点の中から、審査の結果、以下の4作品を選びました。〔募集期間：1月10日～2月28日〕

- ・最優秀作品 「男女共同参画「学」」 浜口直樹さん（神奈川県）
- ・最優秀作品 「知る 学ぶ 考える 私の人生 私がつくる」 梶浦公靖さん（東京都）
- ・優秀作品 「夢を、性別なんかは、壊させない」 長井謙さん（沖縄県）
- ・優秀作品 「男らしさ、女らしさはいらない。さあ、あなたらしく学ぼう。」 杉山大地さん（神奈川県）

最優秀作品は、男女共同参画週間のポスターの他、男女共同参画局サイトや全国各地での関連行事の広報活動等で使用します。

※男女共同参画週間の実施について

6月23日から29日までの1週間は、「男女共同参画週間」です。

本年度は、「男女共同参「学」」、「知る 学ぶ 考える 私の人生 私がつくる」というキャッチフレーズの下、男女共同参画社会の実現に向けた各種広報啓発活動等を実施します。

この週間の中央行事として、「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」を6月25日(火)に東京国際フォーラム ホールC（東京都千代田区）において開催するほか、地方公共団体や女性団体その他の関係団体の協力の下に、男女共同参画社会の実現に向けた各種行事及び広報啓発活動を行います。

※男女共同参画週間、キャッチフレーズの詳細は以下のサイトをご覧ください。

<http://www.gender.go.jp/public/week/index.html>

●「第63回国連女性の地位委員会（CSW）等について聞く会」（4月25日開催）

本年3月に開催された第63回国連女性の地位委員会（CSW）等について、政府から報告を行います。ぜひご参加ください。

日時：平成31年4月25日（木）10:00～12:20（9:30開場）

場所：中央合同庁舎8号館1階 講堂（東京都千代田区永田町1-6-1）

テーマ（予定）

・第1部 最近の国際会議等について

第62回国連女性の地位委員会（CSW）及び第5回WAW!／W20について報告

・第2部 北京+25レビューについて

主催：男女共同参画推進連携会議企画委員会

入場無料、事前申込制（申込は4月21日（日）まで）

※詳細は以下をご覧ください。

http://www.gender.go.jp/kaigi/renkei/li_koukan.html

●女子中高生向けシンポジウム「進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来2019」を開催します。

（6月8日開催）

「理系で広がる私の未来」は、理系選択のその先にどんな未来があるのか、女子中高生とその保護者・教員の皆さんに「理系選択の未来」を知っていただくシンポジウムです。研究者、大手企業、学生の理工系分野で活躍する女性にご登壇いただき、多様で豊かな理工系女子の実態をご紹介いただくほか、企業や教育機関、研究機関のブース出展、ワークショップもあり、資料配布やイベント案内、理系で活躍する先輩との交流、科学実験等も予定しております。

イメージや学校の成績に左右されない真に将来を考える進路選択を支援します。数学や理科が苦手な女子中高生の方、理系に縁のなかった保護者や進路指導を行う教員の方もぜひご参加ください。

日時：2019年6月8日（土） 14:15～17:30 ※開場13:00

場所：科学技術振興機構 東京本部別館（東京都千代田区五番町7K's五番町）

※参加費無料

※シンポジウム詳細及び参加お申込みはこちらをご覧ください。

<https://www.jst.go.jp/diversity/activity/seminar/rikejyoinsei2019.html>

《お知らせ》

●第5回WAW!/W20を開催しました！【外務省】

第5回国際女性会議WAW!（World Assembly for Women）が2019年3月23日(土)から24日(日)の日程でホテルニューオータニ（東京）において、女性の経済的活躍を目的として、G20に提言を行う民間主導のグループW20（Women20）の会合と同時に開催され、約3000人の方々に参加していただきました。

基調講演ではマララ・ユスフザイ・ノーベル平和賞受賞者が女子教育への投資の重要性を指摘し、ミシェル・バチエレ国連人権高等弁務官が持続可能な社会の実現のためにはジェンダー平等が必要不可欠であることを述べました。また特別挨拶では、ガブリエラ・ミケティ・アルゼンチン共和国副大統領が、女性の社会参画促進のためには社会の変革が必要であると説きました。さらに各ディスカッションにおいても、様々な分野における議論が展開されました。

現在外務省ウェブサイトにて、基調講演、特別挨拶及び各パネル・ディスカッション等の動画が掲載されておりますので、ぜひご覧下さい。また、各ディスカッションのコンセプト・ノート及びWAW!参加者からの提言に基づく総括も掲載されておりますので、ご参考にしてください。

第5回国際女性会議WAW!/W20

https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/hr_ha/page22_003059.html

5th WAW!/W20 (English)

https://www.mofa.go.jp/fp/hr_ha/page22e_000859.html

●国立女性教育会館企画展示『鉄道と女性展』開催中【文部科学省】

NWEC女性アーカイブセンターでは、企画展示『鉄道と女性展』を開催中です。男女共同参画社会実現のため、様々な分野においてチャレンジした女性たちのあゆみをたどるシリーズ企画の10回目です。

今回は、男性中心の職場だった鉄道会社に女性が進出していった過程を戦前から現代までたどります。女性鉄道員の写真・制服、年表・統計、各時代の状況をうかがうことのできる図書・雑誌や、鉄道員手帳・改札鉄・路線図などの鉄道関連資料を展示します。

また、鉄道会社職員、鉄道学校の学生など、現代の鉄道にかかわる女性達のインタビューも紹介します。

館内各所には記念スタンプもご用意しています。みなさまのご来場をお待ちしています。

- ・ 期間 2019年4月19日（金）まで9：00～19：00（休館日をのぞく）
- ・ 会場 NVECアーカイブセンター展示室（本館1階）（埼玉県比企郡嵐山町）
- ・ 料金 無料

詳細は、こちらをご覧ください。

<https://www.nwec.jp/event/archivecenter/tenji2018tetsudou.html>

問合せ先

国立女性教育会館情報課 嶋・星野

TEL：0493-62-6728

●「あいちトリエンナーレ2019～情の時代～」の開催（8月1日（木）～10月14日（月・祝））【お知らせ】

【あいちトリエンナーレ2019～情の時代～】

日程：2019年8月1日（木）～10月14日（月・祝） [75日間]

会場：愛知県及び豊田市の美術館、市内各地

テーマ：「情の時代」感情／情報／情（なさけ）など

※「ジェンダー」をテーマとした作品も紹介されます。

今年2019年8月1日（木）から10月14日（月・祝）の75日間の日程で、愛知県名古屋市と豊田市で開催される国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019」で、参加作家の完全なジェンダー平等が実現する運びとなりました。

美術業界は女性の割合が多い業界で、現在の主要な美大の男女比は、7割が女性で男性は3割です。美術館の学芸員も女性が多く、66%——3人に2人は女性です。しかし、行政が主導する国際芸術祭の参加作家となると、海外であっても、日本であっても参加作家の割合は、男性7割、女性3割と逆転します。美術館の館長は9割近くが男性です。

美大の教員も8割以上男性によって占められています。女性の中に良い作家がたくさんいるのに、「選ぶ側」が男性中心であるためこの構造が変わらない——あいちトリエンナーレではこの構造を変えるアフーマティブ・アクションとして、今回の参加作家のジェンダー平等を実現しました。

会場では、参加女性作家による、ジェンダーの問題を想起させるようなアートも展示される予定です。会期が始まりましたらぜひ皆様愛知県まで足をお運びください。

※詳細は以下をご覧ください。

<https://aichitriennale.jp/>

=====

●内閣府 男女共同参画局のホームページは、男女共同参画に関する総合的な情報提供サイトです。

男女共同参画社会を実現するための法律、基本計画、関係予算等のほか、男女共同参画に関する政策・活動等の情報を掲載しています。

<http://www.gender.go.jp>

●男女共同参画局メールマガジンについて

男女共同参画局メールマガジンは、隔週金曜日に配信しています。

次号は、平成31年4月26日（金）に配信する予定です。

=====

●このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。このまま御返信いただいてもお答えできませんので御了承ください。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://www.gender.go.jp/magazine/index.html>

バックナンバーはこちらから

<http://www.gender.go.jp/magazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0001.html>